

仲代達矢氏を追悼 役者人生に迫るドキュメンタリーパン組を再放送



2025年11月8日、一人の役者が92歳でこの世を去りました。役者にこだわり、生涯現役を貫いた唯一無二の俳優・仲代達矢。「第二のふるさと」として能登を愛し、地域に演劇文化を根付かせた仲代さんをしのび、北陸朝日放送では、2014年3月に制作したドキュメンタリーパン組を再放送でお届けします。

HABひと物語スペシャル 役者 仲代達矢園

2026年3月22日(日)午前10時15分放送

●番組内容

※2014年3月26日に放送した番組を一部、再編集して放送します。

仲代 達矢(当時81歳)。劇団俳優座出身で、「無名塾」を主宰し、舞台演劇と映画・テレビドラマの映像分野で活動を続けている。

仲代さんと能登との縁は30年前にさかのぼる。無名塾が1985年に能登で合宿をしていたことがきっかけで、旧中島町(現在の七尾市)は演劇専用のホール「能登演劇堂」を建設した。舞台の後壁が日本では唯一の開閉式になっており、野外舞台も設営できる。仲代さんは監修として設計にかかわった。現在は、シェークスピア作品「ロミオとジュリエット」のロングラン公演に挑んでいる。

仲代さんら無名塾のメンバーが出演する能登公演は、9月28日から10月27日まで。その後は全国を行脚する。無名塾のロングラン公演は、09年に同演劇堂で同じくシェークスピア作品の「マクベス」を上演して以来となる。

能登への思い、80歳をすぎてなお衰えぬ舞台への情熱…、仲代達矢の役者人生に迫る。